

本気な娘の「カルキ」

朝日新聞より

Z 2 6

2008. 7. 12

J R 東海 労 東 二 運 分 会

みなさんは「カルキ」という言葉を知っているでしょうか？ 漢字で書くと「軽気」だろうか、と小学生の娘さんのお母さんから、朝日新聞（7/12）「ひととき」への投稿がありましたので紹介します。（既読の方、ご免なさい）

『今のカルキじゃなかったから、もう1回見ててっ！ 小学2年生の娘が今日も汗だくになって縄跳びをしている。成功の瞬間の笑顔が見たくて、私も家事の手を止める。しかし、なかなかうまくいかない。娘の赤らんだ顔に、焦りの色が見え隠れする。「カルキ」とは娘が最近よく口にする言葉で、どうやら「本気」の反対の意味のようである。—略— 人一倍の頑張り屋さんで負けず嫌いな性格の娘が何事にも本気で取り組んできたことを私は誰よりも知っている。「カルキ」と言い張り必死に縄を回す姿がいじらしく、いとおいしい。いつの日か娘もカルキを口にしなくなり、その言葉とともに幼い頃を懐かしむ時が来るだろう。たくさんのカルキが娘の人生の糧となるよう祈っている。そして親の元を巣立つその日まで、私は本気で娘を見守りたいと思う。』

「Z25」で紹介した、「はじめて悔しいと言った」娘さんのお母さんや今回のお母さん、ホントお母さんて優しいですね。（念のため、お父さんも同じ想いで娘、息子を見ているはず）

すでに、親の元を巣立っている娘さん 息子さん！

仕事や自己啓発という名の勉強会、QCと業研、小集団、諸行事への参加は「本気」ですか？ 「カルキ」ですか？ 更衣室や出先で、休日勤務や早出・居残りについて「ボヤキ」(?)が聞こえてますが、ブッチャケ どうですか？

確かに全部大切なことです。特に仕事は、本気でやらないとお客様に見透かされてしまいます。しかし、「お客様のため」「会社のため」「自分のため」が、いつしか同僚との競争になっていませんか。自分の「本気」と「カルキ」と「ボヤキ」をお母さん、そして同僚に話してみましよう。

くみあい

「同僚に 言えないとが… お母さん」 C D 頑 爺